

Elazzio

SEAT COVER



HONDA
FREED
FREED HYBRID

専用シートカバー取付説明書

0438/0439/0440

Glazzio

SEAT COVER

このたびは「Glazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関する
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

…> 03-04

シートカバー装着前の注意事項

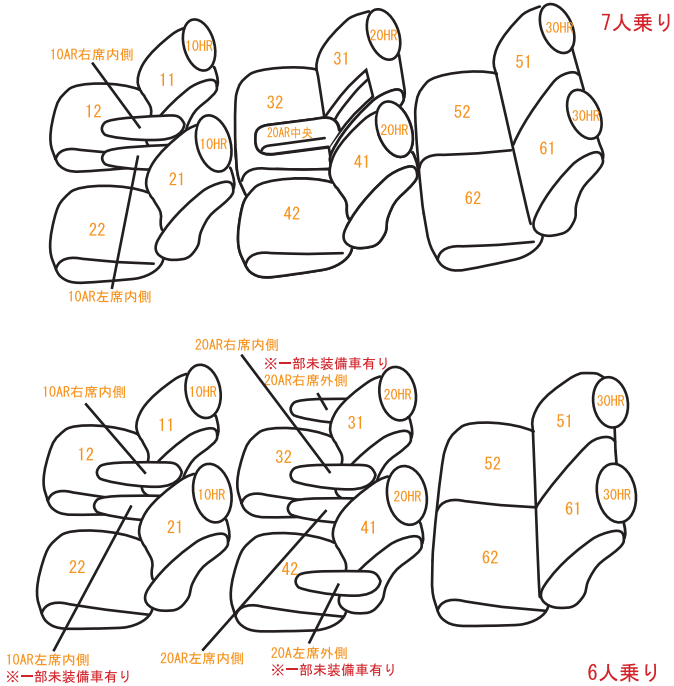
…> 05-32

シートカバーの装着方法

…> 33-34

アフターサービスと生地別メンテナンス方法

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- ① ソケットレンチセット (12mm)
- ② クラッツィオ 専用 ヘラ (付属)

この商品では上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せず）にして、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付けられています。仮合わせの時点で製品に何らかの支障があった場合は、お買上げ頂いた販売店、または当社までご連絡ください。事前に連絡がなく装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。またお客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきます。
- 本製品は梱包時にシワが入る場合があります。ある程度は正常に取付けをおこなうことで生地が伸びシワは解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定穴やバックテーブル等）を損なわないように製造されていますので、背もたれや座面に穴加工されているタイプのシートカバーがあります。
- 万が一ご注文された商品と違う、不良品、配送中の破損等、ございましたらご連絡ください。速やかに商品を交換もしくは修理対応させていただきます。
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間を頂く事があります。
- 箱の多少の破損、商品の細かい傷、シワ等は不具合対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席に生じた傷、破れ、摩擦、シワ、ヘコミ、変型、変色、化学変化等

警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ開閉部分に、SRSサイドエアバッグ対応用の縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。また、シートカバーを正しく取付けないと衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず重大な傷害に及ぶか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。
※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準がないため自社独自の対応規格となります。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや、本革側に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てられると、表面のツヤ変化・変形・変色の原因となります。また、高温、多湿のところに放置されると硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管してから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用していますので、燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 当社のシートカバーはフィッティングを重視して製造しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りの過ぎると抜けたり、切れる恐れがありますのでご注意ください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工されているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着して頂くと、作業がスムーズに進みますので、当社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らな広いスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態(扉を開放されたまま)にされると、バッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- フィッティング性を重視した当社のシートカバーを取付けた後、元に戻した際(シートカバーを取り外した際)にシート自体にシワが残る場合があります。予めご了承ください。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をお掛けしますが当社までお問い合わせください。
- 当社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように製造していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。予めご了承ください。
- 取り付け時(シート本体のパーツを取り外す場合等)及び、使用時におきた車輛への損傷、車輛の不具合、人体への怪我(シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります)について、当社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、取付けを行ってください。またいかなる場合でも商品代金、送料を保証の上限とし、それ以外の保証はできませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換取付け、取付け取り外し等の工賃、取付け等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましては一切の責任を負わないものとします。

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

Step 1

…> 6・7人乗り1列目 6人乗り2列目座面の装着方法

6人乗り2列目キャブテンシートは、1番・4番・19番・20番以外を参考にカバーの装着を行って下さい。



- 1 始めにシート背面下からシート裏にフックで固定されている生地を、フックを金属フレームから外して、図のようにめくり上げるようにします。



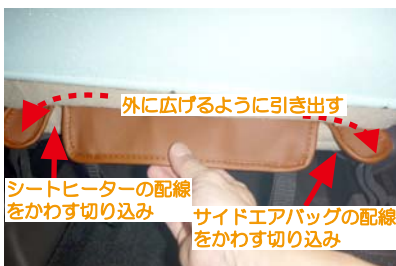
- 2 シートのラインに合わせて、カバーを前側からシート全体にかぶせます。



- 3 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して入れ込みやすい位置で行って下さい。シートの軸付近は隙間が非常に狭いので、入れ込みづらい場合は、生地を中央に寄せて入れ込むようにして下さい。



- 4 図はシートヒーター・サイドエアバッグの配線です。入れ込んだ生地を引き出す際にシートヒーター・サイドエアバッグ装備車は、配線をかわしながら生地を引き出します。



- 5 3番で入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。中央に寄せて入れ込んだ生地は外側に広げながら引き出します。シートヒーター・サイドエアバッグ装備車は、生地の切込み部分で配線をかわすようにして引き出します。



- 6 シートの外側です。シートとプラスチック部の隙間に、端に固定部材の付いた生地を入れ込みます。



7 シート外側の付け根辺りのカバーにゴムが付いています。そのゴムをシートとプラスチック部の隙間に入れ込みます。



10 金属フックはシートの裏の金属フレームに引っ掛けて固定します。特定の位置はありません。ある程度ゴムの引っ張りが効く位置に固定して下さい。



8 入れ込んだゴムをシート背面のシート裏から引き出します。



11 シートの内側です。シートとプラスチック部の隙間に、端に固定部材の付いた生地を入れ込みます。



9 引き出したゴムに付属の金属フックを取り付けます。



12 シートベルトバックルの付け根部分に、へらなどを使用して生地を入れ込みます。



- 13 シート内側の付け根の生地を、図のシートとプラスチック部の隙間へ入れ込みます。



- 16 シートの背面から入れ込んだベルトを引き出します。



- 14 シート内側の付け根部分は図のようになります。



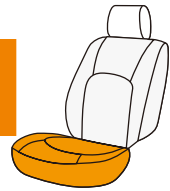
- 17 引き出したベルトを5ページ5番で引き出した生地についているバックルに通して固定します。



- 15 カバーの前側に付いている2本のベルトをスライドレバーの内側を通して、シート背面側に入れ込みます。



- 18 ベルトは①～③の順番でバックルに通します。まずバックルの中央にベルトを通して折り返します。次につまみ側の端に通して引くとカバーの前後が絞り込まれ固定されます。ベルトは強く引きすぎると生地が破れたり、切れたりするのでご注意ください。



- 19 5ページ5番で引き出した生地両端にゴムが付いています。ゴムに付属の金属フックを取り付けます。



- 22 6人乗り2列目キャブテンシートは、背もたれと座面の隙間に入れ込んだ生地端にマジックテープが付いています。マジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 20 金属フックはシート裏の金属フレームに引っ掛けて固定します。シートの背面側は図のようになります。



- 23 カバーのラインを整えて、6人乗り2列目助手席側座面の完成です。運転席側も同様に取り付けます。



- 21 カバーのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。助手席も同様に取り付けます。

Step 2

…> 1 列目・6 人乗り 2 列目背もたれの装着方法

6人乗り2列目キャブテンシートは、7番・10番・13番・15番以外を参考にカバーの装着を行って下さい。



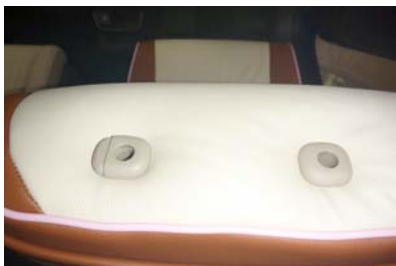
- 1 始めにアームレストを外します。アームレスト側面に付いているキャップをヘラなどを使用して外します。



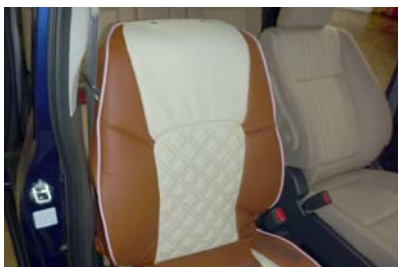
- 4 ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から取り出します。まず台座の片側のフチに生地をしっかりと入れ込みます。



- 2 ソケットレンチなどを使用して、中のボルトを外します。ソケットは12mmを使用します。ボルトを外すとアームレストがシートから外れます。外したアームレストにはバックシンなどが付いているので無くさないようにご注意ください。



- 5 生地の伸びを利用してヘッドレストの台座を取り出します。一部、革を使用しているカバーでは、革は伸びないので取り出す際に生地が裂けることがあります。大きく裂けない限り台座のフチに隠れますので、慌てず慎重に作業を行って下さい。



- 3 カバー両側面のファスナーを開いた状態でシートのラインに合わせてかぶせます。



- 6 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で作業を行って下さい。シートの端に行くほど隙間が狭くなっているため中央辺りから入れ込んで下さい。



- 7 両端に付いているマジックテープを、ねじれないようにシート中央辺りに寄せて、背もたれと座面の隙間に入れ込みます。



- 10 5ページ1番で外した生地を、図のようにめくり上げます。生地はカバーの中をめくり上げた状態で収まるようにします。



- 8 入れ込んだ生地とマジックテープをシート背面から引き出します。この際、座面カバー同様に、5ページ4番・5番を参考にしてシートヒーター・サイドエアバッグ装備車は配線部分に気を付けて作業を行ってください。



- 11 カバー両側面のファスナーを、生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。



- 9 ①～③の順番に、カバー側面の生地を引き下げながら中央へ寄せて、中央で余った生地を下へ撫で下ろすようにして、生地をシートに密着させていきます。カバー側面のシワが無くなるまで、繰り返し行って下さい。



- 12 ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



- 13 10ページ8番で引き出した生地とカバーの背面下をマジックテープで固定します。マジックテープのみ引き出している両端も同様に固定します。マジックテープは長めにしてあるので、ある程度引っ張り、緩まないように固定して下さい。



- 16 カバー背面下は図のようになります。2列目キャプテンシートは15番の生地がないので、図とは異なります。



- 14 シート背面は図の位置がくぼんでいます。シートカバーの固定方法では、このくぼみを出すことが困難なため、生地が若干浮きます。しっかりシートの形状になじませるためには、カバーの裏に両面テープを貼り付けるなどの対策を行って下さい。



- 17 カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。助手席も同様に取り付けます。



- 15 カバー背面下の生地が付いているゴムに、付属の金属フックを取り付けます。金属フックはシート裏の金属フレームに引っ掛けて固定します。



- 18 カバーのラインを整えて、6人乗り2列目助手席側背もたれの完成です。運転席側も同様に取り付けます。

Step 3

…> 7人乗り・2列目座面の装着方法



- 1 主に運転席側で説明を行います。始めに運転席側の中央席のシートベルトバックルがゴムで固定されているので、ゴムからバックルを外します。



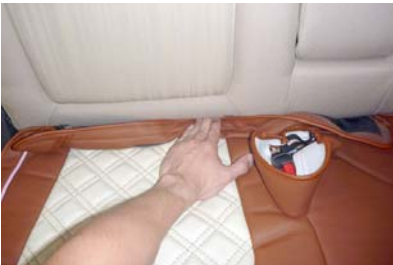
- 4 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



- 2 シートのラインに合わせて、シートの前側から全体にかぶせます。この際、助手席側はシートを前に倒しておく作業が行いやすくなります。



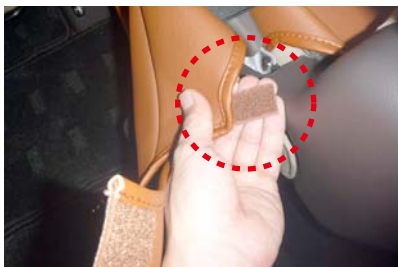
- 5 シート外側、リクライニングレバー辺りの端に固定部材の付いた生地を、シートとプラスチック部の隙間に入れ込みます。固定部材はプラスチック部の少し奥の方のくぼみに掛かるように入れ込みます。



- 3 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



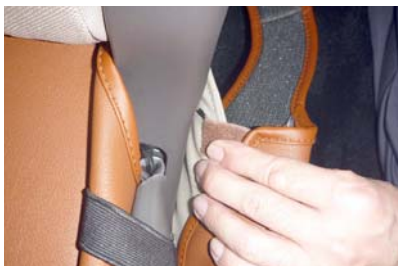
- 6 シート内側のシートベルトバックルが収納されているフちに、生地を整えながら入れ込みます。



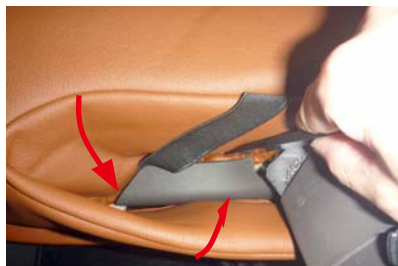
7 12ページ6番の図で、親指辺りで押さえている生地の端に、この図のマジックテープが付いています。



10 引き出したマジックテープは、シート地を挟んで外側の生地に付いているオス側のマジックテープと固定します。



8 マジックテープは生地と共にシートのフチに沿わせて入れ込みます。



11 シートベルトバックルが収納される奥に生地を馴染ませながら入れ込み、プラスチック部の隙間にヘラなどで生地の端を入れ込みます。生地を入れ込むことで、より収納部のフチに生地が馴染みやすくなります。



9 入れ込んだマジックテープをシートの裏側から引き出します。マジックテープの入れ込む位置がずれていると、マジックテープが裏側へ抜けなくなります。位置を調整して引き出して下さい。



12 運転席側のカバーには、12ページ1番で外したゴムの代わりに、カバー側にゴムが付いています。そのゴムにシートベルトバックルを通します。ゴムにバックルを通さないと、バックルがシートからはみ出す場合があります。その状態で、助手席側のシートを動かすと、シートの一部が破損する恐れがありますのでご注意ください。



- 13 カバー両側面から出ているヒモを、シートの背面へ通します。



- 16 ベルトのループに通した2本のヒモの片方で、図のように輪を作ります。



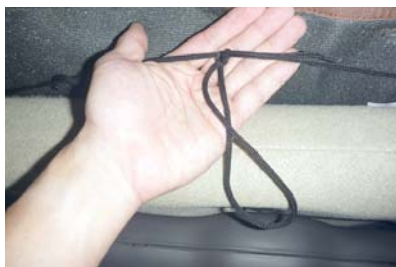
- 14 背面へ通したヒモを、12ページ4番で引き出した生地裏に付いているベルトのループに通します。ベルトのループはかなり短いため生地を余分に引き出さないと見えない可能性があるため、見つからない場合は生地を深く引き出して確認して下さい。



- 17 もう片方のヒモを作った輪に通します。通したヒモを引くことで、シートの下周りが絞込まれます。ヒモは強く引きすぎると切れる恐れがあるので、ご注意ください。



- 15 内側面のヒモも同様に12ページ4番で引き出した生地裏に付いているベルトのループにヒモを通します。



- 18 シートの下周りをある程度絞り込み、ヒモが緩まないように結び留めます。



- 19 カバー内側の生地を背面へ引き出して、12ページ4番で引き出した生地とマジックテープで固定します。



- 22 カバー外側面のマジックテープの付いた生地を、シートのフチに巻き付けるようにして、シート裏にマジックテープで直接貼り付けて固定します。



- 20 12ページ4番で引き出した生地を、マジックテープで直接シートに貼り付けて固定します。この後シートをスライドさせてみて、生地が土台のプラスチック部に干渉しないか確認して下さい。干渉するようなら固定位置を少し上へずらして下さい。



- 23 カバー前面のマジックテープの付いた生地を、シートのフチに巻き付けるようにしてシート裏にマジックテープで直接貼り付けて固定します。
シートを後ろに下げた状態では生地がシートの土台に引っ掛かり、固定しづらい場合があります。その場合はシートを前にスライドさせて作業を行って下さい。



- 21 シートの背面側は図のようになります。



- 24 シートの下周りは図のようになります。



- 25 中央のシートベルトバックル収納部分のカバーに、ゴムが付いています。ゴムは中央にある2個のバックルに通して奥へ入れ込みます。このゴムは生地を浮きを抑える役目になります。



- 26 シートベルトバックル収納部のフチに沿わせるようにして生地を入れ込みます。



- 27 シートベルトバックル収納部は図のようになります。



- 28 カバーのラインを整えて、2列目運転席側座面の完成です。



- 29 助手席側も形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。

Step 4

…> 7人乗り・2列目背もたれの装着方法



- 1 シート表皮の固定を一部外します。シート背面内側のファスナーの端を、図のように取り出します。



- 2 取り出したファスナーにはつまみの部分は付いていません。生地を外側へ開くようにしながらファスナーを開けます。



- 3 シート背面下の生地を固定を外します。フックで固定されているので、①で生地先端を起き上がらせるように押し込み、②でフックの先端を返すようにして外します。フックはかなりしっかりと固定されているので、外れない場合はヘラなどを使用して作業を行って下さい。



- 4 フックの固定を外して、図のように背面の生地がめくれる状態にします。図では半分までしか背面の固定を外していませんが、全体を開いた方が作業は行いやすくなります。



- 5 内側のファスナーを開いた状態で、シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



- 6 ヘッドレストの台座を取り出します。



- 7 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 8 シート付け根の生地を、シートに馴染ませるように入れ込みます。



- 9 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



- 10 アームレストの付け根部分にマジックテープのベルトを入れ込みます。アームレスト下に手を入れるとプラスチックパーツがあります。その下を通して、さらにシート背面裏につながる隙間がアームレスト付け根奥の両端にあるので、そこを通します。マジックテープを入れ込み、マジックテープの付いた生地もアームレスト下の隙間に入れ込みます。



- 11 入れ込んだマジックテープのベルトを、17ページ4番で開いたシートの背面から引き出します。



- 12 引き出したマジックテープを上側の金属フレームに巻き付けます。



- 13 マジックテープは金属フレームに巻き付けて折り返し、先端のオスのマジックテープをメス側に貼り付けて固定します。



- 16 ヘラなどを利用して上側の角に生地を入れ込みます。



- 14 マジックテープのベルトを2本とも固定すると図のようになります。



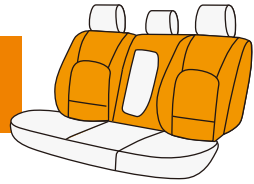
- 17 収納部側面にも生地を入れ込みます。この際、図のような体勢になり、片方の手で17ページ4番で開いたシートの背面側からプラスチックカバーの裏側を押して、もう片方の手で生地を入れ込むと作業が行いやすくなります。



- 15 アームレスト収納部のプラスチックカバーのフチに、端に固定部材が付いた生地を入れ込みます。始めに上側から入れ込んでいきます。



- 18 全ての生地を入れ込んで、プラスチックカバーを奥へ押し込みます。元の位置から浮いていないか確認して下さい。この作業では、矢印の部分が特に生地が入り込みづらくなっています。生地を入れ込む奥に金属のフレームがあるので、金属フレームの内側に生地が入るように入れ込んで下さい。



- 19 シート背面内側のファスナーを閉じます。ファスナーにつまみ部分はありませんが、指の腹で押していくと徐々に閉じていきます。ファスナーの端はシート地の内側へ入れ込んで下さい。



- 22 18ページ9番で引き出した生地と、カバー背面下の生地をマジックテープで固定します。



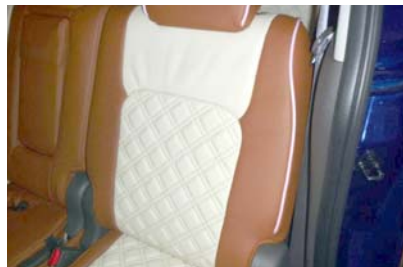
- 20 シート背面下のブラックを固定します。ヘラなどを使用してブラックの先端をしっかりと入れ込みます。その後フックの付け根を押し込むと固定しやすくなります。



- 23 カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。



- 21 カバー内側のファスナーを、生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



- 24 助手席側はアームレスト収納部がないのでシート背面を開く必要はありません。その他は運転席側と同様に取り付けます。

Step5

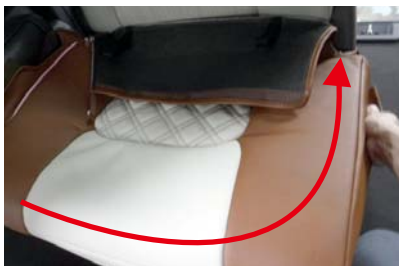
…> 3列目座面の装着方法



- 1 カバーをシートの外側からかぶせます。シートの外側は脚が床にロックされた状態だと隙間がかなり狭いため、ロックを解除してシートを少し斜めにするとカバーをかぶせやすくなります。



- 4 シート内側の軸の下には隙間があります。その隙間に生地を入れ込みます。



- 2 1番でかぶせたシート外側を支点として、カバーをシート全体にかぶせます。



- 5 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



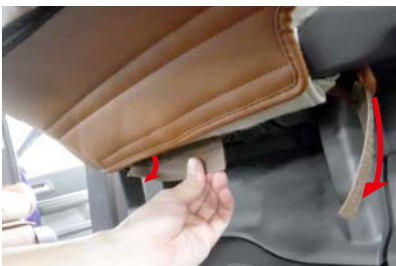
- 3 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 6 シートの外側です。端にマジックテープの付いた生地を、シートを固定している軸部分をかわして、車体との隙間を通し、シートの裏へ入れ込みます。



- 7 シート内側の付け根部分に、端に固定部材の付いた生地を入れ込みます。こちらは隙間が狭いので作業は慎重に行ってください。



- 8 シートを跳ね上げた状態にします。21ページ6番で入れ込んだ魔术テープをシート裏から引き出します。



- 9 引き出した魔术テープをシート裏の生地に付いているオスの魔术テープと固定します。後ろ側の魔术テープは長めにしているの、ある程度引っ張り、緩まないように固定して下さい。



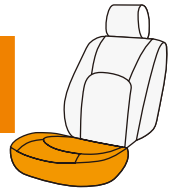
- 10 シート裏の生地进行シート背面側へしっかりと寄せて、21ページ5番で引き出した生地に付いているファスナーと固定します。この際ファスナーは3分の1程度閉じて下さい。全て閉めてしまうとこの後の作業に影響が出るのでご注意ください。



- 11 カバーの両端から出ているヒモを、21ページ5番で引き出した生地の裏側、付け根部分に付いているベルトのループに通します。



- 12 ベルトのループに通したヒモは、片方のヒモで輪を作り、もう片方のヒモをその輪に通して引き込み、シートの下周りを絞り込み結び留めます。



- 13 3分の1程度開めていたファスナーを全て閉じます。ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



- 16 シート背面の内側です。図のプラスチック部に生地の手入れ込みと仕上がりがきれいに見えます。



- 14 21ページ5番で引き出した生地を、マジックテープで直接シートに貼り付けて固定します。



- 17 シートを跳ね上げた状態から戻します。シートベルトバックル収納部のフチに、ヘラなどを利用して生地を入れ込みます。



- 15 シート裏のカバーに付いているマジックテープを、シートの形状に沿わせるように、直接シートに貼り付けて固定します。



- 18 カバーのラインを整えて、3列目運転席側座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。

Step 6

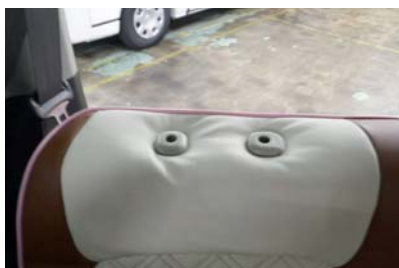
…> 3列目背もたれの装着方法



- 1 カバー側面のファスナーを開いた状態で、シートのラインに合わせてかぶせます。



- 4 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



- 2 ヘッドレストの台座を取り出します。



- 5 カバー側面のファスナーを、生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



- 3 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 6 4番で引き出した生地と、カバー背面下の生地をマジックテープで固定します。

Step6

ヘッドレストの装着方法



1列目ヘッドレストと6人乗り2列目ヘッドレストの装着方法を併せて説明します。



7 シート外側の軸部分です。こちらは背もたれと座面の隙間が非常に狭く、生地を入れ込むと摩擦が激しく生じるため、カバーでは生地を大きくかわす仕様になっています。



1 カバーの前後を確かめます。カバーは平らなプラスチックが付いている方が前です。図のようにカバーを裏返した状態で、ヘッドレストのラインに合わせて、先端までしっかりとかぶせます。



8 カバーのラインを整えて、3列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。



2 ヘッドレストのラインからずれないように左右均等に慎重に引き下げて、ヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。



3 ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏でブラフックを固定します。



- 4 ブラックの固定方法は、かぎ状のフックに平らな方のプラスチックを生地と一緒に折り返して、はめ込み固定します。



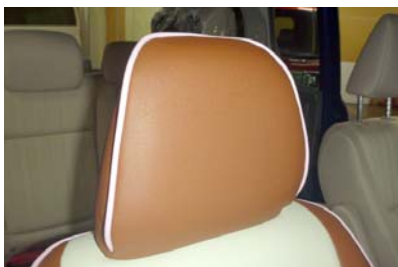
- 7 6人乗り2列目ヘッドレストの裏です。こちらはカバー装着時の開口部を広げるため、ヘッドレスト裏の軸周りは図のように大きく開けています。



- 5 1列目のヘッドレスト裏は図のようになります。



- 8 カバーのラインを整えて、6人乗り2列目ヘッドレストの完成です。



- 6 カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。

7人乗り・2列目のヘッドレスト



- 1 7人乗り・2列目のヘッドレストです。ヘッドレスト片方の側面にカバーを引っ掛けるようにかぶせます。



- 2 引っ掛けた位置を支点に、カバーをヘッドレスト全体にかぶせていきます。この際、ヘッドレストの角を指で押すことで、カバーがかぶせやすくなります。



- 3 カバーをヘッドレスト全体にかぶせたら、ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏の生地を内へ寄せながら、マジックテープで固定します。



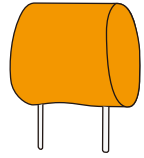
- 4 マジックテープで固定した後、1列目同様にブラフックを固定します。7人乗り・2列目両サイドのヘッドレスト裏は図のようになります。



- 5 7人乗り・中央のヘッドレスト裏は図のようになります。



- 6 カバーのラインを整えて、7人乗り・2列目ヘッドレストの完成です。



3列目のヘッドレスト



1 ヘッドレストの先端にカバーがたるまないようにしっかりとかぶせて、カバーを下から上へとかぶせます。



4 マジックテープで固定した後、1列目同様にブラックを固定します。ヘッドレスト裏は図のようになります。



2 ヘッドレスト全体にカバーをかぶせて、ラインを整えます。



5 カバーのラインを整えて、3列目ヘッドレストの完成です。



3 ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏の生地を内へ寄せながら、マジックテープで固定します。

Step 8

…> アームレストの装着方法

1 列目アームレスト



- 1 1 列目アームレストはコンビニフック付きアームレストのため、カバーには両側に穴が開いています。大きい穴が開いている方が内側になります。カバーを図のように裏返して、アームレストの先端に生地がたるまないように、しっかりとかぶせます。



- 2 アームレスト全体にカバーをかぶめます。軸側に引っ掛けるようにしてカバーをかぶせます。



- 3 アームレスト全体にカバーをかぶせて、カバーのラインを整えます。図はアームレストの外側です。



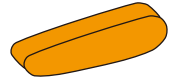
- 4 図はアームレストの内側です。



- 5 アームレストをシートに戻します。ボルトは締めすぎないように、アームレストの動きを確認しながら適度な力で固定して下さい。



- 6 キャップを元通りに固定して、1 列目アームレストの完成です。



6人乗り2列目アームレスト



1 カバーを図のように裏返して、アームレストの先端に生地がたるまないように、しっかりとかぶせます。



4 アームレストの軸部分に、生地を引っ掛けるようにしてかぶせます。



2 アームレストをシートに戻します。



5 アームレストの角度を変えて、軸周りの生地をヘラなどでしっかりと入れ込みます。



3 キャップを元通りに固定します。



6 カバーのラインを整えて、6人乗り2列目アームレストの完成です。



7人乗り・中央アームレスト



- 1 カバーの向きはアームレストを収納した際に、引き出す持ち手のベルトが付いている方が下側になります。カバーを図のように裏返して、アームレストの先端に生地がたるまないように、しっかりとかぶせます。



- 2 アームレスト軸部分の隙間に、まず生地の上端に付いているベルトを入れ込みます。



- 3 次にベルトの付いた生地を入れ込んでいきます。入れ込む先にプラスチックカバーがあります。ベルト・生地はプラスチックカバーの上を通るように入れ込みます。隙間が大変狭いため、図の状態です手を添えたまま、手の位置を支点として、アームレストを倒す・起こすを繰り返すと、生地が徐々に奥へ入り込みます。



- 4 アームレストを倒して入れ込んだ生地を引き出します。ベルトが出てきたらベルトを引きながら慎重に引き出して下さい。ベルトは生地を引き出す際の補助のためであるので、カバーの固定には使用しません。



- 5 引き出した生地とアームレストの上側をマジックテープで固定します。



- 6 カバーのラインを整えて、7人乗り・2列目中央アームレストの完成です。

完成図



1 列目



7人乗り、2列目折りたたみ・3列目跳ね上げ状態



7人乗り、2列目



1 列目背面



3 列目



6人乗り・2列目キャプテンシート



After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 1年間保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。

クラッツィオ キルティングタイプ・プロス クラッツィオ
プロスクラッツィオ タイプ2は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。

(巾135cm・メーター単位での販売となります)
クラッツィオ キルティングタイプは対象外です。



パーツ交換の際、お客様の製品の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

アルカンターラ・スエード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革パンチング・ECTの本革部分

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまった場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

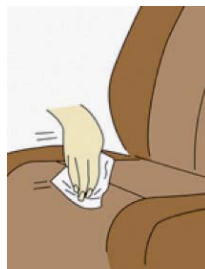
本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐにふき取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。



www.11i.co.jp

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816